

「もったいない心」分野

淳工房 (窯業)

廃食用油をガラス溶解炉の燃料として活用

ガラス工房では、溶解炉を24時間継続して稼働させており、その燃料として、灯油の代わりに廃食用油のみを使用する実験を、4年に渡り繰り返し、再利用の可能性を広げてきた。

この取組は、二酸化炭素排出削減事業として、ガラス業界で初の国内クレジット認証を受けるなど、温暖化防止にも貢献している。



廃食用油を使用しているガラス溶解炉



認定の主なポイント

アートの分野でもエコ活動を実施しているという点を評価

所在地 〒070-0822 旭川市旭岡2丁目8-1

電話 0166-53-8512 (FAX 0166-53-8536)